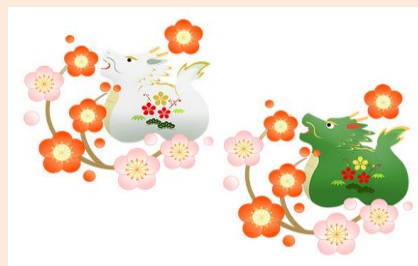


【シルバーだより 新年号】



理事長
高橋 博

【新年のご挨拶】 あけましておめでとうございます。

年末年始は雪も無く穏やかな新年をお迎えの事と思います。一方元旦の石川県能登半島の地震で被害を受けられた皆様に対し心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を願っております。

昨年は県最低賃金の大幅な改正に伴い、令和6年度配分金単価の改正について理事会に諮り決定しております。

事業については、インボイス制度施行に伴い、消費税費用捻出のため事務費を見直し発注者の方々より、ご理解いただき、ご負担を頂いております。そのような中で今年度は、時期的な受託件数の増減もありましたが比較的、順調に業績を上げられた事は、会員皆様の誠意ある仕事に対するの評価であったと考えております。

令和6年度はデジタル事業の推進、フリーランス新法施行に伴う契約方法の見直しに係る事務の改善など取組む事業運営が山積しております。今年も会員の皆様にご理解とご協力をお願いするとともに、皆様の健康をご祈念申し上げ新年の挨拶とします。

【事務局からのお知らせ】

① 『地区座談会の開催』について

今年はコロナ禍以前のような座談会を開催できればと考えております。各地区の地区委員の方へ開催方法を問い合せており、2月の開催予定で詳細が決定次第、皆さんにお知らせします。多くの皆さんの出席お願いいたします。

② 『令和5年分 配分金支払証明書』を送付しました。(オレンジ色の封筒)

シルバー人材センター会員の配分金収入は所得税法上の「その他の雑所得」に該当します。申告の必要がある方は所得申告の際にご利用ください。尚、証明書についての問合せは本所へ、申告に関する問合せは税務署又は町税務課にお願いします。

③ デジタル推進事業に係るアンケート調査へのご協力ありがとうございました。

皆さんから60%以上の回答があり、ご意見も頂戴しました。今後はアンケート結果を基にデジタル化に向けた事業を策定、推進して行きます。

【気持ちを新たに、新年をスタートしましょう】

新しい年のスタートあたり「シルバー人材センターの基本理念」を再確認し、仲間との連携を図りながら「事故ゼロ」目指して頑張っていきましょう。

★シルバー人材センター 四つの基本理念★

【自主】 【自立】 【共働】 【共助】

健康が一番

健康であれば何でもできる

★自分達で目標をたて活動し、更に就業に関しても自分達で段取りを行い相互に協力しながら皆さんが仲良く、楽しく働くことを基本理念としています。

【会員拡大に向けた募集活動のお願い】

12月末時点での会員数は273名（前年同月会員272名）となっております。

昨年度末では289名の会員数となっております。今年度もここから新年度の就業会員確保のため、皆さんのお力を借りし、仲間を増やしていただくようお願いいたします。事務局では下記の募集活動も実施していきます。

《12月末時点》

	合 計	男 性	女 性
全 体	273名 (21名)	187名 (11名)	86名 (10名)
高島地区	150名 (10名)	101名 (5名)	49名 (5名)
川西地区	123名 (11名)	86名 (6名)	37名 (5名)

※（ ）は新入会員の人数

（今後の募集活動）

◎高島町、川西町の広報2月号に会員募集広告、及び入会説明会の案内広告を掲載いたします。

（入会説明会は2月に高島、川西両会場で行います）

◎NCVケーブルテレビ11チャンネルで

募集広告を放映（2月上旬頃から放映予定）



【老いと向き合う就業のすすめ】

全国シルバー人材センター事業協会 会長 金子順一 氏（コラムより一部抜粋）

◎高齢期には老いと向き合い楽しく働くことが大切

私は、高齢期の働き方の選択肢として“老いと向き合う就業”を提唱している。80歳90歳になっても元気なうちは働くことができる、文字どおり生涯現役を実践するための働き方である。

人は誰も“老い”から逃れることはできない。加齢とともに体力・気力の低下を実感する。高齢期に健康面で不安を抱えるのは普通のことだ。一人暮らし、老後資金など生活面の不安を持つ人も多い。こうした中でも、老いに応じた働き方をすることで、長い高齢期を充実したものにする。そうした働き方を目指すのは“老いと向き合う就業”である。これは、暮らしと就業を一体的に捉えた、地域社会とのかかわり、人々のつながりを重視した働き方である。報酬より健康、生きがい、社会参加を前面に出した働き方も表現できる。

就業を通じて、健康維持、仲間づくり、引きこもり防止、※フレイル予防が期待できるのは言うまでもない。元気に働き続ける会員の姿を目の当たりにすると、長く働くコツは、老いと向き合いながら楽しく働くことだと思ふ。

※フレイル予防 高齢期に病気や老化等の影響による、心身の活力（筋力や認知機能）を含む生活機能の低下を予防すること。また、社会や他人との繋がりが減少することによる喪失感等が原因で生活への活力、意欲が無くなることを予防すること。